

生き！行き！ 生目古墳群

Vol.3



ここまでわかった!!
生目古墳群の最前線。



ボク、ハニィ。生目5号墳でみつかった壺形埴輪だよ。ボクがうまれた生目古墳群は、宮崎市大字跡江にある古墳群で、100mを超える古墳3基を含む50基の古墳がみついているよ。

昭和18年9月8日に国の史跡に指定されたすごい古墳群なんだ。ボクは生目の杜遊古館に展示してあるので会いに来てね!!



宮崎市教育委員会

生目古墳群は世界文化遺産登録を目指しています

古墳ってなんだろう？

古墳とは今から約1800年前から1300年前にかけて造られたお墓のことです。古墳には前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳などさまざまな形があり、大きさも数メートルから500m近いとても大きなものまであります。この形、大きさの差が、葬られた人の身分などを表していたと考えられています。



前方後円墳

円墳



前方後方墳

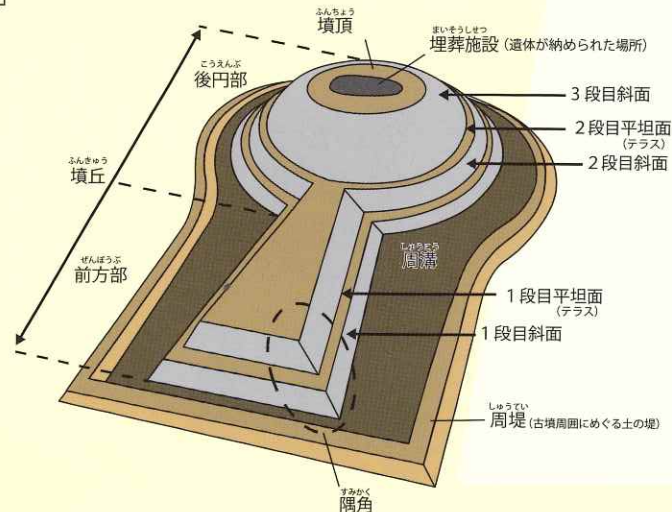
方墳



古墳が造られた時代は「古墳時代」と呼ばれています。古墳時代には、近畿地方に「ヤマト政権」と呼ばれる強大な権力をもった政治集団がありました。そのヤマト政権との同盟関係を表したものの一つと考えられているのが前方後円墳です。前方後円墳は、北は岩手県(奥州市角塚古墳)から、南は鹿児島県(肝付町塚崎39号墳)まで広がっており、ヤマト政権の影響力が広範囲に及んでいたことを示しています。

前方後円墳を観察してみる。

前方後円墳は「円」と「方」が組み合わされて造られており、上から見ると鍵穴のような形をしています。立体的な構造物であるためさまざまな工夫が施され造り上げられています。また時期によって形が変化していくため、その形を研究することで造られた時期を知ることができます。



ここに注目!! 生目古墳群



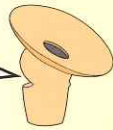
南九州最古の巨大古墳群

生目古墳群には、古墳の長さが100m以上ある前方後円墳が3基（1号墳、3号墳、22号墳）あります。同じ古墳群の中に3基も100m以上の古墳があるのは、九州で生目古墳群だけです。また3基すべてが「古墳時代前期」と呼ばれる、古墳時代でも比較的古い時期に造られていることも注目される点です。中でも3号墳は、長さが137mもあり、九州最大の前期古墳です。少なくとも南九州全域に影響がある、強大な権力をもった人物がこの地に居たことを示しています。



3号墳空中写真

生目古墳群には前方後円墳8基、円墳42基、合わせて50基の古墳があるんだよ。



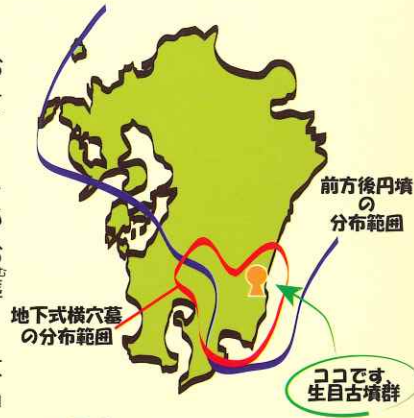
地下式横穴墓～同じ、だけど個性的～

地下式横穴墓は文字通り地下に造られた古墳時代のお墓で、主に宮崎県の南部と鹿児島県の東部に造られています。

これまでに約1400基がみつかり、その中には、副葬品が出土しない「一般人のお墓」から、九州でも屈指の副葬品が出土した「地域を代表する有力者のお墓」と考えられるものもあり、幅広い階層の人々が葬られたと考えられます。

出土する副葬品は他地域の古墳から出土するものと大きな違いはなく、個性的なお墓ですが、古墳文化の中に含まれます。

生目古墳群では、ヤマト政権のシンボルともいえる前方後円墳の周囲に地下式横穴墓がたくさん造られるという特徴があります。

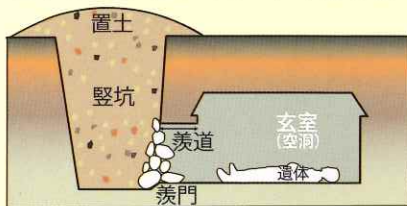


ココです 生目古墳群



生目古墳群は2つの分布が交わる場所にあるんだね。

地下式横穴墓のつくりかた。



地下式横穴墓模式図

- ① 竪坑と呼ばれる竪穴を掘ります。
- ② その底から横方向に掘り進み、遺体をおさめる玄室を造ります。
- ③ 遺体や副葬品を玄室におさめます。
- ④ 横方向の穴の入口、羨門という部分を木の板や石でふさぎます。
- ⑤ 竪坑を土で埋め戻します。
- ⑥ 玄室分の余った土を、竪坑上周辺に置土として盛り上げます。

解明進む。生目古墳群



1号墳～造られた当時は九州最大!!～

長さが137m、後円部3段、前方部2段に造られ、古墳の表面全体が石で覆われていました。造られた当時は九州最大の古墳です。土器や埴輪はみつかりません。後円部の頂上が戦国時代に砦として使われ、斜面に堀が掘られていたことがわかりました。



前方部葺石

22号墳～たくさんの壺形埴輪が出土～

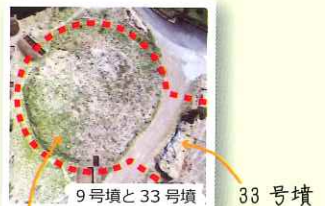
復元される古墳の長さは101mで、後円部3段、前方部2段に造られていました。近年の調査で、古墳の頂上とテラスに壺形埴輪が並べられていたことが明らかになりました。3号墳と同じく、後円部の頂上が戦国時代に砦として使われ、斜面に堀が掘られていたことがわかりました。



壺形埴輪出土状況

9号墳～前方後円墳、かもしれない～

直径38mの生目古墳群最大の円墳です。現在は高さが低く、頂上が非常に広い姿をしています。これは平安時代頃に削られたためと考えられています。園路を挟んで西隣にある33号墳の発掘調査で、9号墳に向かって直線的に伸びる溝がみつかり、33号墳を前方部とする前方後円墳であった可能性があります。



9号墳と33号墳

9号墳 溝 33号墳



9号墳と33号墳

16号墳～生目最後の古墳!?～

古墳の端が削られていますが、直径20m程度の円墳と考えられます。頂上から6世紀終わり頃の土器(須恵器)が出土しました。生目古墳群最後の古墳である可能性があります。



墳頂出土須恵器

巧の葺石 1号墳

以前は古墳の形から、生目古墳群の中で最も古い4世紀初め頃に造られた前方後円墳と考えられていましたが、発掘調査によって、後円部、前方部両方が3段に造られる、4世紀後半頃に流行した形であることが明らかになりました。前方部の先端



1号墳想定復元図

が崩れていますが、復元すると約130mになり、造られた当時は九州最大規模の古墳であったと考えられます。後円部の一部では、ほぼ造られた当時のままの状態で見つかりました。



約1650年間、ほとんど崩れることなく土の中に残されていたんだ。全国的に見ても珍しいことなんだよ。

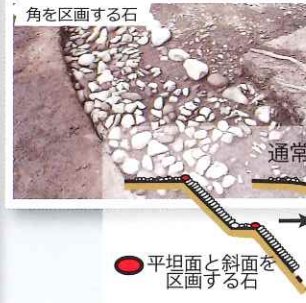


造られた当時のままの状態で見つかった葺石

波状の葺石
後円部の三段目斜面では、波状に葺石が積み上げられていました。これは全国的にみても他に例がない非常に珍しいもので、丁寧に積み上げられた様子がうかがえます。



波状の葺石



角を区画する石

通常角から崩れる

●平坦面と斜面を区画する石

角まで残る
1号墳では、古墳の頂上と斜面を区画する石列が見つかりました。この場所は古墳の中で最も崩れやすい場所であるため、石列の状態で見つかったのは全国で初めてです。

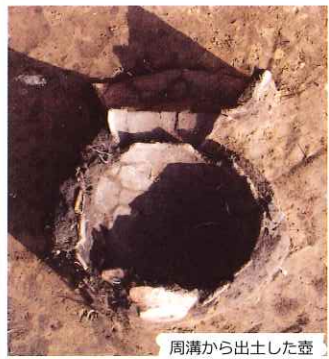
最小・最多の前方後円墳 21号墳

発掘調査がおこなわれる以前は円墳と考えられていましたが、長さが36mの生目古墳群で最も小さい前方後円墳であることが明らかになりました。

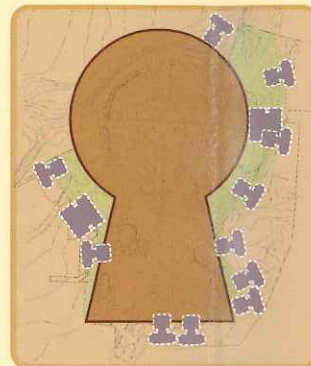
葺石はありませんが、壺や壺形埴輪が見つっています。それらの土器、埴輪から4世紀前半に造られたと考えられています。



21号墳調査風景



周溝から出土した壺



●が地下式横穴墓の位置

集合、地下式横穴墓

21号墳が造られて半世紀余りがたった頃、周溝の中に地下式横穴墓が造られ始めます。その数は13基にもなり、生目古墳群で最も多くの地下式横穴墓に囲まれている古墳です。

約1600年前に造られた、宮崎平野部で1番古い地下式横穴墓が見つかったんだ。



最古級の地下式横穴墓
21号墳周溝内の地下式横穴墓の中には、5世紀初めの、最も古い時期の地下式横穴墓も含まれています。これまで宮崎平野部では、この時期の地下式横穴墓はみつかっていなかったため、地下式横穴墓の発生を考えると、重要な発見でした。周溝の中の地下式横穴墓は、すべて墳丘とは逆側に玄室を造っています。

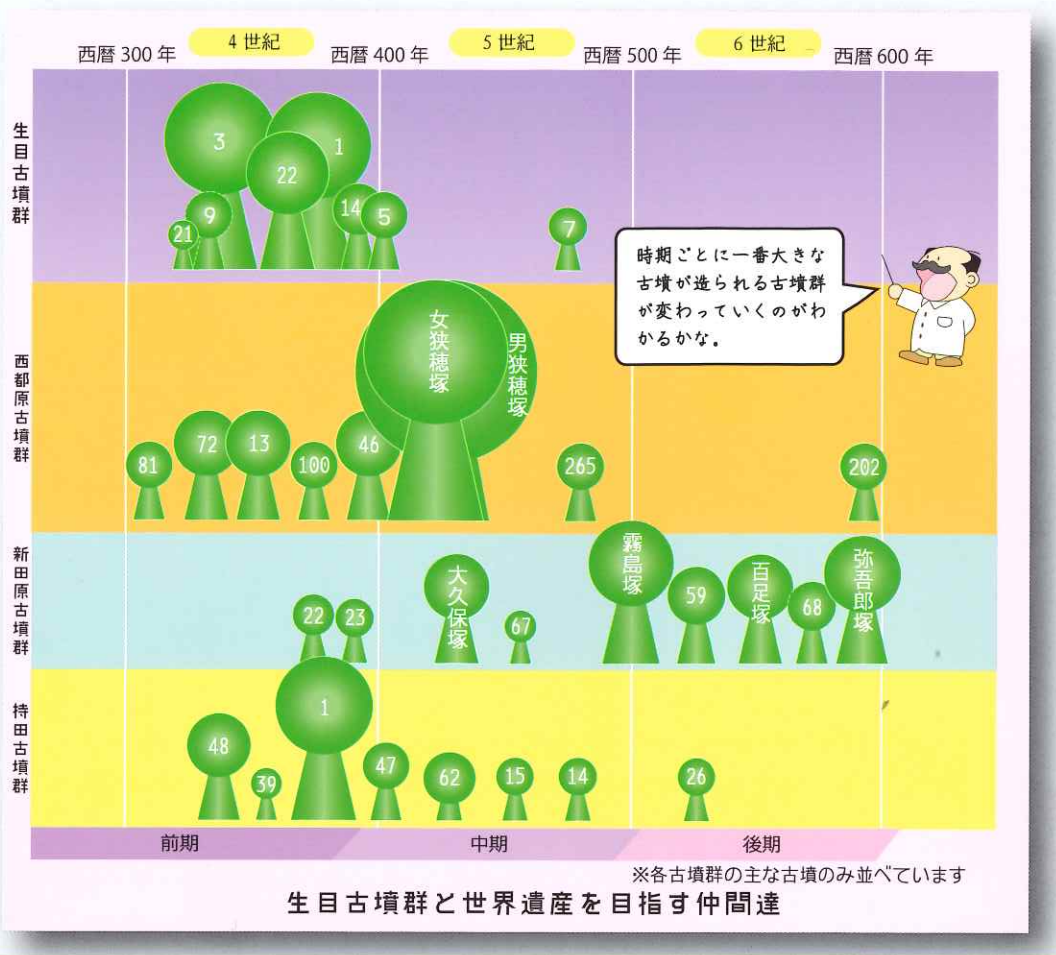


最古の地下式横穴墓・生目43号地下式横穴墓



地下式横穴墓出土鉄器・玉

生目古墳群史跡公園 MAP



時期ごとに一番大きな古墳が造られる古墳群が変わっていくのがわかるかな。



史跡公園開園時間
5月1日から9月30日
午前8時30分～午後7時
10月1日から4月30日
午前8時30分～午後6時

お問い合わせ
宮崎市教育委員会文化財課
電話:0985-85-1178 FAX:0985-84-2222
E-mail:45bunsin@city.miyazaki.miyazaki.jp
住所:〒889-1696 宮崎市清武町西新町1番地1
宮崎市生目の杜遊古館
電話:0985-47-8001 FAX:0985-47-8202
住所:〒880-2101 宮崎市大字跡江4200番地3

交通アクセス
車 東九州自動車道「宮崎西IC」より約5分
車 JR宮崎駅から約20分
バス 宮交シティ発・県病院方面「記念病院・生目の杜」行き「遊古館」下車 ※土・日・休日のみ
バス 宮交シティ発・県病院方面「小松台・悠楽園」行き「生目の杜運動公園北」下車、徒歩20分